



# 陣内俊 Prayer Letter

Designed by CORKSCREW DESIGN WORKS /2008/All Rights Reserved

2012年8月-9月号

Vol.27

## 支援者の皆様へ

### 支援者の皆様へ

支援者の皆様、こんにちは。いつも温かいお祈り、ご支援をありがとうございます。月日の流れは早く、F V Iが発足して2年、また私が以前の仕事を辞め、皆様と共に今の働きを始めてから4年半の歳月が経過しました。新しく飛び込んだ世界では経験による心の余裕もなく、その時、その時で、「なすべきこと」に追われて来たように思います。しかし5月に結婚式が終わってからの2か月間、少しスローダウンし、4年半の歩みを一步引いた位置から振り返り、点検するような時間を持つことが出来ました。

**私たちの道を尋ね調べて、主のみもとに立ち返ろう。**

**私たちの手をも心をも天におられる神に向けて上げよう 哀歌3:40-41**

神様の前に自分の道を尋ね調べて振り返るときに、まず心に思い出されたのは自分の至らなさや、出来てこなかった様々な事でした。祈り支援してくださっている皆様の期待に応えられたのか、神様がしてくださっていた期待があるならば、それに応えられたのかどうか、自信がありません。

同時にこの4年半、数えられないほど多くの感謝すべきことがちりばめられていることにも気が付きます。私のような者を用いて神様がしてくださったこと、神様に助けられたこと、多くの忘れ得ぬ出会い、そして今も支援者の皆様と共に働きを担うことが出来ていること自体がひとつの奇跡のような恵みであり、それを忘れてはいけない、と思わされます。

**わがたましいよ。主をほめたたえよ。主の良くして下さったことを何一つ忘れるな。詩篇103:2**

支援者の皆様に祈られ、支えられていながら、私は「このような計画があって、このような手順で実現します」というような、優秀なビジネスパーソンや頭の切れる政治家のようなことが言えません。しかし、皆様に見守られ、祈られながら、それでも葛藤し迷いながら、共に成長させられ、神に託された奉仕を続けさせていただきたいと願います。このような不十分で未完成な者を温かい心で見守り共に歩んでくださる皆様とこれからも歩んで行ける大きな特権に感謝し、まずは「次の半歩」から、歩を進めて行きたいと思わされています。



## 活動報告

### 奉仕と活動（2012年6月～7月）

皆様の祈りに支えられ次の場所で働きをさせていただきました。関係した方々に感謝いたします。

月日	内容	場所
6月4-6日	関東学院高校1年生修養会講演、ワークショップ	富士箱根ランド
6月10日	ビジョン・カンファレンス	鎌倉雪ノ下教会
6月12-14日	マリッジリトリートに参加	支笏湖国民休暇村（北海道）
6月18-21日	DNA 国際リトリート	アリゾナ州（米国）
7月2日～7月5日	メンターのボブ・モフィット氏との私的な交わり	カリフォルニア州（米国）
7月8日	礼拝メッセージ	練馬グレースチャペル
7月28日	信愛キリスト教会にて高齢者支援の働きを見学	愛知県豊川市
7月29日	礼拝メッセージ	I C B C（愛知県蒲郡市）
継続的に	F V I 事務局の働き	練馬、立川など各地

### 関東学院高校1年生に、「人生の目的」について語る



6月4日～6日、関東学院高校1年生の修養会に講師として招いていただき、講演とワークショップを担当させていただきました。「何のために生きるのか」という問いと悩みがきっかけで教会に行くようになり、そして神を信じる信仰を持つようになった高校時代のこと、獣医師として働き、働く意味や喜びを神と同僚から教えていただいた6年間のこと、インドやエチオピアといった国々や聞き屋の実践で、志を同じくする仲間たちから大切なことを学んだこの数年間のことなどを分かち合わせていただきました。250名の生徒たちが熱心に耳を傾け、ワークに取り組んでくれました。講演後、複数の生徒たちが「感動しました。もっと聞いていたかったです。」と声を掛けてくれました。

またワークショップの時間には「隣人を愛する3ステップ」に各グループに分かれて取り組み、それぞれのグループが「学校に帰ったら校内のゴミ拾いや声掛け運動をする。」「落ち込んでいる人を励ますサークルを作る」「お父さん、お母さんに感謝の手紙を書く」などの計画をしてくれました。若者が神様によって生かされている目的を知り、それに生き始める事に貢献することほど、大きな喜びはありません。皆様のお祈りに心より感謝します。

## 紹介したいチームメイト

### Bob Moffitt (72歳、Harvest 財団代表、DNA 共同創業者)

ボブ氏は今私が携わっている働きの大先輩であると同時に、私の個人的なメンター（師）のような存在です。2005年から2年間、私は当時聞き屋ボランティアをしていたメンバーと共に、ボブ氏の開発した「愛の訓練」のコーチングしていただきました。具体的には、私たちは毎週4つの「隣人に神の愛を現す行動」を実践します。「家族／教会／地域社会／離れた地域」という4分野の人々、「霊的／身体的／社会的／知的」という4領域の必要について、バランスよく配慮を現していきます。たとえば（地域社会／身体的）「隣の人の家の前を掃除する」というように。私たちは毎週4つの行動計画を立て、実行し、ボブ氏にメールで報告しました。ボブ氏はそれに対して毎週丁寧なフィードバックと厳しくも温かい励ましをくれました。

2007年、当時獣医として市役所で働いており海外に宣教に行きたいと願っていた私は、夏季休暇を利用してサンディエゴにいたボブ氏を訪ねました。氏は5日間予定を空けて私と時間を過ごしてくれました。そのときに「宣教師になるかどうかよりも大切なことがある。俊は一体、何を考えたときに君が一番心が燃えるんだ？」と質問してくれました。その答えがそれまで自分の夢だと思っていた海外での支援活動や宣教ではなく「日本」にある、と気が付いたとき、仕事を辞めて現在の働きをする決意ができました。その後、今の働きの上司である神田英輔師を紹介してくれたのもボブ氏でした。

今年7月、私は妻と共に5年ぶりにサンディエゴにいました。あらゆる点で5年前の私とは違う私がそこにはいました。巻頭でも書いたように、「これまでの自分に一体何が出来てきたのか？」「自分（たち）の働きは本当にこれで良いのか？」という葛藤もボブ氏に分かち合いました。ボブ氏は優しい目でこう言って励ましてくれました。「その気持ちはとてもよく分かる。母は私のしている働きを25年間応援してくれていたが、数年前に母が死ぬ直前に『あなたがしていることは開発途上国支援なの？ 宣教団体なの？ 一体、何をしているのかももう一度説明してくれるかしら？』と訊かれた。あまり多くの人が携わっていない働きをするということには葛藤も伴うし理解されないこともある。でも私が観るときに、俊がこの5年間にしてきたことは、普通の人には出来ることじゃない。聞き屋の実践や海外で奉仕、国内での励ましによって日本の若者たちが神に従うことに貢献してきた。」そしてこのようにも言うてくれました。「私たちは作為的に変革を生み出すことはできない。出来るのは神に忠実であることだけだ。更に言えば君が何をしているか、ということは、神の国においてその人が効果的であるかどうかとあまり関係がない。君がどんな人であるか、それが大事だ。どれだけ君がイエスに似ているかのほうが、君がどんな仕事をしているかよりも大切なんだよ。可能性の世界の自分自身や、他者と比較してはいけない。今日、与えられた状況で、与えられた働きを全力でするんだ。それが神の召しを果たすことだ。」また滞在中、ご夫妻は結婚に関しても長年の働きと経験をもとに私たちにアドバイスをくださいました。それらの言葉と生き方は、くさびのように私の心に打ちこまれ、今後の人生を神に頼って生きていく上で大切な指針となると思います。働きの内容と共に、「イエス様のご性質に似る」という点で人生のロールモデルに出会えたことは、皆様との出会いと同様、私の人生の大きな幸福のひとつであると思わされています。



【写真】モフィット夫妻、妻と私、サンディエゴにて



## 祈りの課題

- ◇F V I の今後の福島への関わり方において、神からの知恵と指針が与えられるように。
- ◇夫婦で神様の働きを担っていくため、神様を中心とする夫婦生活の土台が築かれていくように。
- ◇より長期的に神様が託された働きを担う備えが出来るように。体系的な聖書の学びの機会とタイミングのため。

## 今後の予定

月日	内容	場所
8月19日	ビジョン・カンファレンス	伊那福音教会
9月8日	福島未来会議2同窓会	福島県郡山市
9月4日～14日	被災地での聞き屋応援ツアー	宮城、岩手、福島
10月8日	WFD登別大会	登別市（北海道）
10月17、18日	弘前学院大学で講演、授業	青森県弘前市
11月8日	コドモの園幼稚園で講演	東京都世田谷区
2013年5月	福島未来会議4（予定）	福島県内
2013年夏	西アフリカ訪問	ガーナ、ニジェールなど
随時継続的に	国内啓発活動およびフォローアップ	国内各地
随時継続的に	F V I 事務局の働き／神学の学び	練馬など各地

## 連絡先

〒443-0013 愛知県蒲郡市大塚町伊賀久保 100-2 国際クリスチャンバプテスト教会内 「陣内俊を支える会」  
Email shun@karashi.net ブログ URL : <http://ameblo.jp/shunjinnai-kingdomcome/>

## 支援のための献金方法

私の活動は、支援者の皆様の善意の支援献金によって支えられています。経済的支援にご協力くださる方は、お手数ですが以下のいずれかの方法で口座にお振込ください。

- ゆうちょ銀行口座番号 12110-91889141 名義：「陣内俊を支える会」
- 他行からの振込 店名（店番）：〇八九（ゼロハチキュウ）（089）預金種目：当座  
口座番号：0142825 「陣内俊を支える会」
- 郵貯振替口座番号 00830-1-142825 名義：「陣内俊を支える会」  
(同封の振込用紙がご利用いただけます。)

- \*ブログから Prayer Letter をダウンロードくださった方で、振込用紙をご入り用の方、ゆうちょ口座からの自動引き落としを利用されたい方はお知らせください。振込用紙、ご案内を送らせていただきます。
- \*2カ月に一度、プレーヤーレターに2枚（2か月分）お送りさせていただく振替口座の振込用紙（赤色・手数料当方負担）を同封させていただきますが、振込用紙は決してご支援を催促するものではありません。お振込くださるときにご利用ください。
- \*Prayer Letter の購読、自動引き落としを停止されたい方、またはお届け先の住所に変更がある方は、お手数ですが、上記連絡先のいずれかにご連絡ください。